

小学5年生が「車いす体験」

10月6日(木)早稲田小学校の5年生が「車いす体験」をしました。車いすに乗る人、押す人の二人一組になり実際の道を想定したコースを回りました。車いすに乗る前には、押す人が声をかけて信頼関係



を作ることが大切だという話を聞いてからスタート。実際に押してみると車いすが重く、小さな段差でも思い通りに動かさず、戸惑う子もいました。車いすに乗るとスロープや下り坂では後ろ向きで降りるので、こわい思いもしたようでしたが、友達を信頼して身を任せていました。「乗っている人がこわい思いがなく安心できるように介助をしてあげたい。」「おじいちゃんが車いすなので助けてあげたい。」「体が悪くて歩けなかったりする人の気持ちがわかりました。」など今回の体験から車いすに乗っている人への思いやりの気持ちが分かったようでした。



「乗っている人がこわい思いがなく安心できるように介助をしてあげたい。」「おじいちゃんが車いすなので助けてあげたい。」「体が悪くて歩けなかったりする人の気持ちがわかりました。」など今回の体験から車いすに乗っている人への思いやりの気持ちが分かったようでした。

「青パト」に同乗しました!



8月末日、夜9時出発。学区内をまんべんなく回ります。早稲田の夜9時は、人通りもなく暗くてまるで深夜です。ゴミがよく投げ捨てられる場所や、駐車違反を見つけて注意した場所など具体的な説明を聞き、改めて地域の実情や、パトロールのご苦労を知ることができました。皆さんもぜひ一度同乗してみてください! 早2 山崎 千絵子

住み続けたいまちわせだ

~子どもと生きる~

第3次プランを進める中で、継続して取り上げられる課題に遊び場の確保があります。地域の皆様の熱心な働きかけで早速に公園のフェンス対応をしていただき心より感謝申し上げます。今後も子育て世代のニーズに沿ったサポートを進行するべく小学校並びに中学校PTAの協力を得ながら活動の充実を図ってまいりたいと思っておりますので、これまでと変わらぬ皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

子どもネット 古重 歌織

介護予防通信(6) ~最終回~

今回は介護予防のための、自助・互助・共助・公助についてお話しをしたいと思います。全ての中心は「自助」自分のことは自分でという考え方が基本となっています。しかしながら、齢を重ねると、どうしても人の助けが必要になってくることもあるかと思えます。前回の介護予防通信でもお伝えしたように介護保険の費用も増大していく一方、実は現在この中でも「互助」と言う言葉が今、注目されています。

- ・自分で病院へ行く
- ・健康管理をする
- ・ボランティア活動
- ・住民組織の活動(サロン)



- ・社会保険制度を活用(医療保険・介護保険)
- ・行政などの公的サービス(生活保護・人権擁護・虐待対策)

「互助」の具体的な方法としては「地域で支えあう」です。早稲田地域ではたくさんのサロンが開催されており、ボランティアさんや住民の方々が中心となって支えあいをされています。最近では茶話会やお稽古事だけでなく、**運動を取り入れたサロン**が早稲田集会所や女学院のゲストハウスでも行われています。このような地域活動に参加することで「自分自身や周りのみなさんも元気になれる」と言われています。支えあいとは・・・**支え愛**とも言えます。地域のみなさんで少しでも一緒に「**健康な期間を長く過ごす**」サロン活動などにも参加されてみてはいかがでしょうか!!

わせだのなかまたち

シリーズ① なごみ

“表千家茶道を楽しむ会「なごみ」”は、その名の通り茶道を通して、楽しむ事を大切にしています。お茶・お菓子・季節・会話...その時だけの時間を楽しんでいます。毎年、公民館主催の「夏休み!早稲田子ども体験」では「子どもお茶教室」のお手伝いもさせて頂いています。笑いの絶えないグループです。お茶は心と体をリフレッシュさせてくれます。お客様大歓迎!美味しいお茶とお菓子を頂きながら、私たちと一緒にいつもと違うゆったりとした時間を過ごしてみませんか?



毎月第1・3木曜日、早稲田公民館・和室でお稽古しています。いつでも気軽にお越し下さい。お問い合わせは早稲田公民館まで。 責任者 大木 智恵子

社協だより わせだ

第128号
2016.12
発行部数
2600部



2016.12
早稲田社協のHPは、このQRコードでもご覧いただけます。

早稲田社協のホームページ [こむねっと ひろしま](https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/02waseda/) → 東区 早稲田学区 <https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/02waseda/>
 <編集・発行>早稲田学区社会福祉協議会 〒732-0063 広島市東区牛田東二丁目12-23 早稲田集会所2F TEL/FAX (082) 225-3685

早稲田社協 見守りサポート事業開始!

「見守りサポート事業」とは、高齢化社会を迎えている今日、早稲田学区社会福祉協議会が各種団体と一体となって、「地域全体が支え合って生きるまち」を目指して、体に不安のある方、高齢者の方、一人暮らしの方などへ、電話での声かけ(見守りなど)を行う事業です。この事業は牛田・早稲田地域包括支援センターと情報の共有化を図り専門機関と連携して支援を行うものです。詳しくは、別途、各町内会からお知らせいたします。

第20回早稲田学区町民グラウンドゴルフ大会

早稲田体協主催、第20回町民グラウンドゴルフ大会が10月10日体育の日に早稲田中学校グラウンドで行われました。24チーム144人の選手が参加、絶好の日和に恵まれ、3世代の交流も図れ、とても楽しい一日となりました。優勝は大人の部 早稲田2丁目上町内会Aチーム、子どもたちの部 早稲田中学校Bチームでした。好評のホールインワン賞「卵」は29人の選手が獲得、20回の記念大会賞ベストゲームは、東2丁目Aチームの上野宏さんの15打でした。 体協会長 杉本 日出明



キッズプログラム体験



10月15日(土)
早稲田公民館ホール
地域の4歳から6歳のちびっこたちに体幹を鍛える運動をサッカーボールなどを使ってわかりやすく指導していただきました。指導はアンジュヴィオレ(広島女子サッカーチーム)の指導者:中村雅昭さん。子どもたちは一つ一つの説明をちゃんと聞きながら楽しそうに走っていました。早い時期に体幹を鍛えることで、子どもたちが持っている運動能力を見つけてあげられるそうです。今後もこの体験会は開催する予定です。 早4 宮原 信子

NHK広島 見学



10月18日(火)
よりみちでNHK広島の見学に行きました。普段何気なく見ている画面の向こうには沢山の発見や不思議がありました。3Dの画面で小笠原の海の中へ、大きな魚が目の前に、雪合戦の雪玉が顔の前に(ヒャー!!)本当にリアルです。体験では、参加者の1・2・3・Qでアナウンサーに、お天気キャスターに等々。集合写真、設備見学をすませ、10月にしては暑い秋晴れの中、中華料理の敦煌へ。ワイワイガヤガヤ、とっても美味しくバイキングをいただき、楽しい一日でした。 早4 末田 千代子

早稲田社協 近隣ミニネット事業「電話で声かけ」交流会

10月16日(日) 南区民文化センター
電話で声かけをさせていただいている方と、ボランティア19人で【落語「古今亭菊志ん・ジャンボ衣笠二人会」】に行きました。他に満福亭おかわりさん、コント・土岐さんが出演されました。ジャンボ衣笠さんの「広島弁爆笑落語」では、小話の一つ一つに「オーツ」と観客が手を振り上げ、話芸のうまさになうなずきながらお腹を抱

えて、涙が出るほど大爆笑しました。古今亭菊志んさんはプロの真打さん!「時そば」「上手なウワキ・・・」さすがでした。小雨の降る一日でしたが、皆で楽しく時間を過ごすことが出来、無事帰ってきました。 早4 上田 房栄

